

## 奥州市医師会第 651 回医学講演会

6月21日（木）午後6時40分からホテルニュー江刺新館イーズにて開催。

HPV感染症をいかに征圧するか  
－ 4価HPVワクチンの  
有用性をもとに考える－

東北大学大学院医学系研究科  
婦人科学分野 教授 八重樫 伸生



子宮頸癌はヒトパピローマウイルス（HPV）が子宮頸部に感染することで発生します。さらに HPV 感染は子宮頸部以外のがんの原因となっていることがわかってきました。また陰部に発生する尖圭コンジローマの原因としても知られ、国内だけでも毎年数万人の発症があります。

病気の予防は検診によって早期発見・早期治療する二次予防が一般的です。しかし上記の疾患は HPV というウイルス感染が原因ということが明らかになってきたため、

他のウイルス疾患の予防と同様にワクチン開発が望まれていました（一次予防）。HPV ワクチンで予防できるのは子宮頸癌が代表ですが、最近では子宮頸癌以外のがんやコンジローマの予防、さらに男性に対するワクチンの効果についても有効性が示されています。

本講演では HPV ワクチンに関する基本的知識を解説するとともに最近の話題も併せて提供します。

（講演時に持参された抄録です）

「奥州市医師会月報2012年8月号」より許可を得て転載